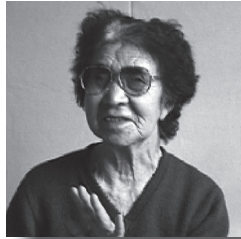


アイヌ民話ライブラリ 2

上田トシの民話 2



アイヌ民族博物館

第8話 散文の物語

ヤナギとミズナラの会話

収 録 日：1997 年 8 月 29 日

資料番号：35238A

添付 CD：4-4（21 分 41 秒）

第8話 散文の物語「ヤナギとミズナラの会話」⁽¹⁾

(イシカリの娘が語る)

イシカツ タ

Iskar_ ta

石狩 に

石狩に

アウヌフ アン…

a=unuhu an…

(私の)母

母がいて…

アオナハ アン アウヌフ アン ヒネ

a=onaha an a=unuhu an hine

(私の)父 いる (私の)母 いる して

父がいて母がいて

オカアン ペ ネ ヒケ

oka=an pe ne hike

暮らす(私) もの である したが

私は暮らしていました。

5 タネ アオナハ カ ケマパセ² ヒ オラノ

tane a=onaha ka kemapase hi orano

もう (私の)父 も 足が重い とき からは

父の足が動かなくなってからは

トウイマ エキムネ³ カ コヤイクス ペ ネ クス

tuyma ekimne ka koyaykusu pe ne kusu

遠く 山猟に行く も できない もの だ から

遠くに山猟に行くこともできないので

ハンケ エキムネ ワ

hanke ekimne wa

近く 山猟に行く して

近くの山へ行って

イセポ ネ ヤ チロンヌ⁴ ネ ヤ ライケ ワ

isepo ne ya cironnup ne ya rayke wa

ウサギ や キツネ や をとる して

ウサギやキタキツネをとって

コロ ワ エク コロ

kor wa ek kor

を持つ して 来る ながら

持って帰り

10 ネ ワ アン ペ パテク

ne wa an pe patek

そう して ある もの ばかり

そればかりを

-
- 1 調査年月日は1997年8月29日、調査場所はアイヌ民族博物館救護室。調査者は安田千夏、同席者は黒川セツ氏。
この話は、大谷洋一氏が『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要第4号』「小川シゲノから上田トシへの伝承2」で報告している話と同一である。これによるとこの話は1950年代穂別町の古老から小川シゲノ氏が聞いた話であった。小川氏がほぼ日本語（一部アイヌ語）で語ったこの話を上田トシ氏が聞き、アイヌ語だけで語り直したものである。
- 2 年を取ってしまったことを表している。
- 3 女性の場合は山へ行くというと山菜取りやまき取りなどを意味するが、男性が山へ行くというのは猟をしに行くという意味になる。
- 4 ウサギやキツネをとるとするのは、シカやクマをとるのが普通である男性の猟の成果としては乏しく、猟運に恵まれた暮らしをしていないことを示している。

キナ アコポプテ ワ アエ コロ オカアン
 kina a=kopopte wa a=e kor oka=an
 山菜 (私)混ぜ て (私)食べ ながら いる(私)

山菜と混ぜて食べていました。

オラ タネ ポン マツカチ アネ ヒ オラノ
 ora tane pon matkaci a=ne hi orano
 こんど もう 小さい 娘 (私)なるとき それから

そして私が少し大きくなってからは

アウヌフ アトゥラ カネ ワ
 a=unuhu a=tura kane wa
 (私の)母 (私)連れる ながら して

母は私を連れて

キナカラアン キナ ラタシケプ アカラ コロ
 kinakar=an kina rataskep a=kar kor
 山菜とりする(私) 山菜 煮物料理 (私)作る ながら

山菜採りをして

15 オカアン ペ ネ ワ アイネ
 oka=an pe ne wa ayne
 暮らす(私) もの であって したあげく

いました。

ラポッケ アウヌフ カ
 rapokke a=unuhu ka
 そのうちに (私の)母 も

そのうちに母も

タネ エネ イキ ア イ ネノ
 tane ene iki a _hi neno
 もう そう し た とき のように

もう以前のように

ニナ カ コヤイクス ノイネ イキ プ ネ クス
 nina ka koyaykusu noyne iki p ne kusu
 薪とり も ができない ように する ものだ から

まき採りもできないようなので

オラノ ニナアン ネ ヤ キ ワ
 orano nina=an ne ya ki wa
 それから 薪とりする(私) で も し て

私がまき採りなどの仕事をしていました。

20 アウヌフ カ アオナハ カ
 a=unuhu ka a=onaha ka
 (私の)母 も (私の)父 も

母も父も

エイタサ アネプキレ… ネプキパ カ
 eytasa a=nepkire... nepkipa ka
 あまり (私)働かせる 働く も

働くのが

ヌクリ ヒ オラノ アナクネ
 nukuri hi orano anakne
 できない とき それから は

大変になってからは

ヤイカタ キナ ラタシケプ アカラ
 yaykata kina rataskep a=kar
 自分で 山菜 作物 (私)作る

自分で山菜取りをし作物を作りました。

マタ アン コロ チクニ ヘネ
 mata an kor cikuni hene
 冬になると 薪 でも

冬になるとまきでさえ

- 25 アエシリキラプ クニ アラム プ ネ クス
a=esirkirap kuni a=ramu p ne kusu
(私)で苦勞する と (私)思う もの だ から
困るように思ったので
- ニナアン アナ アナ ワ
nina=an an a an a wa
薪を取る(私) 何度もし て
まきを取って取って
- チセ オカリ ニヒキリ⁵ ネ ヤ
cise okari nihikir ne ya
家 のまわり 薪の列 で も
家のまわりにまきの山を
- アカラ コロ アナン ワ
a=kar kor an=an wa
(私)作っ て いる(私) して
作っておきました。
- オラノ… コロ ポ ヘネ
orano... kor po hene
それから ながら なおさら
それからは
- 30 アオナハ アウヌフ
a=onaha a=unuhu
(私の)父 (私の)母
父と母は
- イエランポキウエン コロ オカ。
i=erampokiwen kor oka.
(私に)同情する ながら いる
私に同情していました。
- ヤイカタ アナクネ
yaykata anakne
自分 は
私は
- ネプキアン ルスイ ペ ネ クス
nepki=an rusuy pe ne kusu
働く(私) したい もの だ から
働きたいので
- ナ ネン ネン イキアン コロ
na nen nen iki=an kor
まだ いろいろと する(私) ながら
いろいろなことをして
- 35 アナン ペ ネ ア プ
an=an pe ne a p
いる(私) もの だっ た が
いたけれど
- スイ タネ ポン メノコ ネ アオシマ⁶ ヒ オラ
suy tane pon menoko ne a=osma hi ora
また もう 小さい 娘 になる (私)入る 時 こんど
もう一人前の娘になってからは
- エキムネアン
ekimne=an
山に行く(私)
山に

5 ニイキリ ni-ikir (木の・列)。運んで来たまきは雑然と置くのではなく、きれいにそろえて積み上げておいた。

6 「もう娘に成長した」という場面で、メノコ シリポ アオシマレ menoko sirpo a=osmare という表現はよくあるが、この言い方は他に未見。

ニナコエキムネアン ヒネ… パ… ネ
 ninakoekimne=an hine... pa... ne
 薪とりに山へ行く(私) して

まきを

ニナアン ヒネ ニシケ アカラ ヒネ
 nina=an hine nisike a=kar hine
 薪とりする(私) して 薪の荷 (私)作る して

とりに行こう

40 タネ アセ クナク アラム ラポッケ
 tane a=se kunak a=ramu rapokke
 もう (私)背負う と (私)思う そのうちに

と違って

… コロ アナン ラポッケ…
 ... kor an=an rapokke...
 ながら いる(私) そのうちに

いるうちに

アオナハ ウタラ エネ ハウエオカパ ヒ
 a=onaha utar ene haweokapa hi
 (私の)父 たち このように言った

父たちがこう言いました。

アオナハ ウタラ アラソケ タ⁷ アナン ワ
 a=onaha utar arsoke ta an=an wa
 (私の)父 たち 対座し て いる(私) して

父たちはいろりをはさんで対座していて

アオナ ウタラ ウコイソイタクパ ハウエ
 a=ona utar ukoisoytakpa hawe
 (私の)父 たち 互いに話をする こと

話し合っているのを

45 アヌ ヒ
 a=nu hi
 (私)聞く こと

聞きました。

“ イシカラ プトウ ウン… タ シノ ニシパ オカ ワ
 “Iskar putu un... ta sino nispa oka wa
 石狩 の河口部 に に 真の 旦那さん い て

「石狩の下流に長者がいて

アスル アシ ニシパ アスル アシ ハウエ ネ
 asur as nispa asur as hawe ne
 噂 立つ 長者 噂 立つ こと である

その噂を

アヌ コロ オカアン ペ ネ ア プ
 a=nu kor oka=an pe ne a p
 (私)聞く ながら 暮らす(私) もの だった が

聞いていたのだけれど

マツ カネ ヒネ エアラキンネ
 mak kane hine earkinne
 どう して して 本当に

どうしたのか

50 ネ イポネクル カ ニシパ ネ ワ
 ne iponekur ka nispa ne wa
 その 息子である人 も 長者 であって

その息子も長者であるという

7 アラソケタ ar-so-ke ta (反対側の・座・のところ に)。父母とこの娘の間にはいろりがあり、それをはさんで対座していることを現している。

アスル アシ ペ ネ ア プ
 asur as pe ne a p
 噂 立つ もの だった が

噂を聞いていたのだけれど

ヘントマニ ワノ チロンヌプ ポカ
 hentomani wano cironnup poka
 このごろ キツネ さえ

いつのまにかキツネも

イセポ ポカ エオムケンパ ワ
 isepo poka eomukenpa wa
 ウサギ さえ とれなく て

ウサギも獲れなくなって

エアラキンネ コタン オツ タ
 earkinne kotan or_ ta
 本当に 村 の所 で

村でも

55 アウコエシリキラプ コロ
 a=ukoesirkirap kor
 (人)が皆困る ながら

みんな困って

オカイ ペ ネ ヤク アイエ ”
 okay pe ne yak a=ye”
 いる の だ と (私)言う

いるというのだ」

セコロ アオナハ アウヌ ウタラ
 sekor a=onaha a=unu utar
 と (私の)父 (私の)母 たち

と父も母も

エウコイソイタクパ コロ
 eukoisoytakpa kor
 について話をする ながら

話をしていました。

ハラキソ⁸ ワ…アアン ペ ネ クス アヌ コロ
 harkiso wa…a=an pe ne kusu a=nu kor
 客座 から 座る(私) もの だ から (私)聞くながら

私は客座に座って聞いて

60 アナン ヒケ カ
 an=an hike ka
 いる(私) しても

いたけれど

ネウン アラム カ ソモ キ ノ
 neun a=ramu ka somo ki no
 どう (私)思う も しな い で

何とも思わずに

アナン ペ ネ ア プ
 an=an pe ne a p
 いる(私) もの だった が

いたのですでした。

シネ アン タ エキムネアン イネ
 sine an ta ekimne=an _hine
 あるとき 山に行く(私) して

ある日山に行って

8 ハラキソ harki-so (左・座)。入り口とは反対側の上座側から見て左ということ。本来はお客さんが座る席であるが、家族だけで過ごすときはこの座を使う場合もあるのだろう。

コエキムネアン⁹ イネ ニシケカラン
 koekimne=an _hine nisikekar=an
 山に行く(私) して 薪を取る(私)

まきを取って

65 ルウェ ネ アクス
 ruwe ne akusu
 こと だっ たところ

いると

イサム タ ピリカ スス チクニ アシ ワ アン
 i=sam ta pirka susu cikuni as wa an
 (私の)そばに きれいな ヤナギの木 立つ して いる

私のそばにきれいなヤナギが立っていました。

サマ タ スイ ペロ チクニ アシ ワ アン ヒネ
 sama ta suy pero cikuni as wa an hine
 の近く に また ミズナラの 木 立つ て いる して

近くにまたミズナラが立っていました。

ニシケカラン ヒネ
 nisikekar=an hine
 薪とりをする(私) して

まきを取って

ネ ニシケ カ タ アアン ヒネ アナナクス
 ne nisike ka ta a=an hine an=an akusu
 その 薪 の上 に 座る(私) して いる(私) したところ

そのまきを取っていると

70 ネ ニタイ キタイケ
 ne nitay kitayke
 その 林 のてっぺん

林の上の

ニテク ウトモシマ フム¹⁰ ネ ヤ
 nitek utomosma hum ne ya
 枝 互いにぶつかる 音 である か

枝がぶつかる音が

エネ ネ ペコロ アヌ ヒ
 ene ne pekor a=nu hi
 こん な ように (私)聞くこと

このように聞こえました。

“イシカラ プトウ ウン ニシパ¹¹ ポホ
 “Iskar putu un nispa poho
 石狩 の河口 の 旦那さん の息子

「石狩川の下流の村長の息子が

イソ エオムケン パテク ネ ア コロカ
 iso eomuken patek ne a korka
 獲物 がとれない ばかり であった けれど

猟で何もとれなくなっただけでなく

75 ネ ワ アン ペ アッカリ
 ne wa an pe akkari
 そう して ある もの 以上に

そのうえに

ネ イシカラ プトウ ウン ニシパ ポホ
 ne Iskar putu un nispa poho
 その 石狩 の河口 の 旦那さん の息子

その村長の息子が

9 コエキムネ koekimne と2項動詞にして言い直している理由はよくわからない。

10 木の神が話をして人間に重要なことを伝えるという話は他にも採録例されている。当館のデータでは川上まつ子氏のC184_34739AB「村長の家に嫁いだ貧しい娘とヤナギの神」という散文説話がある。

11 この場合の「旦那さん」は「村長」という意味になる。

シイエイエ ヒネ
siyeye hine
病気になる して

病気になって

エアラキンネ タネ ライ ノイネ アン ワ
earkinne tane ray noyne an wa
本当に もう 死ぬ ように いる して

もう死にそうになっているのだ。

オヤコヤクン ニシパ ウタラ
oyakoyak un nispa utar
あちこち の 旦那さん たち

あちこちの旦那さんたちが

80 ウウェカラパ ワ アエポタラ ネ ヤ
uwekarpa wa a=epotara ne ya
集まる して (人)心配する や

集まってまじないや

ナ ネン ネン キパ ヤッカ アニウケシ ワ
na nen nen kipa yakka a=niwkes wa
まだ いろいろ して も (人)できない で

いろいろなことをしても治らず

タネ アナクネ
tane anakne
今 は

今はもう

ライ クニ パテク アテレ コロ
ray kuni patek a=tere kor
死ぬ だろうこと ばかり (人)待ち ながら

死ぬのを待って

アン ペ ネ ヤク アイェ プ
an pe ne yak a=ye p
いる もの だ と (人)言う もの

いるというのだよ。

85 タン パハウ マク ネ ワ ネ ヤ
tan pahaw mak ne wa ne ya
この 噂 どう し て だ か

この噂はどういうことか

エエラムアン”
e=eramuan”
(お前)知っている

わかるかい？」

セコロ ネ ペロ スス
sekor ne pero susu
と その ミズナラ ヤナギ

とそのミズナラがヤナギに

コウウェペケンヌ アクス
kouwepekennu akusu
に尋ねる したところ

尋ねると

ネ スス エネ ハウエアニ。
ne susu ene hawean _hi.
その ヤナギ このように言った

ヤナギはこのように言いました。

90 “アエランペウテク ヒネ
“a=erampewtek hine
(私)わからない して

「わからないけれど

エアニ エエラムアン”
 eani e=eramuan”
 お前 (お前)わかる

おまえにはわかるのかい」

セコロ スス ネ ペロ
 sekor susu ne pero
 と ヤナギ その ミズナラ

とヤナギがそのミズナラに

コウウェペケンヌ アクス
 kouwepekennu akusu
 に尋ねる したところ

尋ねると

オラ ペロ エネ ハウエアニ。
 ora pero ene hawean _hi.
 こんど ミズナラ このように言った

ミズナラはこのように言いました。

95 “ネ… イシカラ プトウ ウン ニシパ
 “ne... Iskar putu un nispa
 その 石狩 の河口 の 旦那さん

「石狩川の下流の旦那さんは

アスル アシ ニシパ ネ ワ オカイパ プ ネ ア プ
 asur as nispa ne wa okaypa p ne a p
 噂 立つ 旦那さん である して いる もの だったが

名立たる旦那さんであるのだが

マク ネ ワ ネ ヤ
 mak ne wa ne ya
 どう し て だ か

一体どうしたのか

シリホントム⁽¹²⁾ ワノ
 sirhontom wano
 途中 から

途中から

ネプ カ チロンヌプ ポカ
 nep ka cironnup poka
 何 も キツネ さえ

何もキツネも

100 ネプ カ エオムケン カ タ
 nep ka eomuken ka ta
 何 も とれない 上 に

何もとれなくなった上に

オラ シイエイエ ワ タネ ライ ノイネ
 ora siyeye wa tane ray noyne
 こんど 病気になる して もう 死ぬ ようで

病気になってもう死んでしまうようだ。

アン ヒ オモトホ アナクネ
 an hi omotoho anakne
 ある こと の原因 は

その原因は

イコシマツ ネ メノコ
 ikosmat ne menoko
 嫁 である 女性

嫁である女性が

12 「行く途中」のように空間的に使われることが多いが、ここでは時間的な「途中」として使われている。

エイタサ ネ ニシパ ウタラ
eytasa ne nispa utar
あまりにも その 旦那さん たち

あまりにも旦那さんたちが

105 イソンパ プ ネ クス
isonpa p ne kusu
獵運がある もの だ から

狩りの名手で

ネイ タ ネ ヤツカ マラットコロパ
ney ta ne yakka marattokorpa
いつ に で も 酒宴を開く

いつも酒宴

パテク キ プ ネ クス
patek ki p ne kusu
ばかり する もの だ から

ばかりをするので

ネ イコシマツ ネ メノコ
ne ikosmat ne menoko
その 嫁 である 女性

その嫁は

マラットコロ ヒ シンキ ヒネ
marattokor hi sinki hine
酒宴を開く こと 疲れる して

酒宴をすることに疲れてしまったのだ。

110 ネウン カ アカラ ワ イソ ラマツ アウク ワ
neun ka a=kar wa iso ramat a=uk wa
どのように も (私)し て 狩り 魂 (私)取る して

何とかして狩りの魂を奪って

カムイ ライケ ソモ キ ヤクン
kamuy rayke somo ki yakun
クマ をとる しない ならば

クマをとらなくなったならば

シニアン ペ セコロ ヤイヌ ワ
sini=an pe sekor yaynu wa
休む(私) もの と 思う して

休めると思って

オラ ネ ホクフ コロ イタンキ
ora ne hokuhu kor itanki
こんど その 夫 の お腕

その旦那さんのお腕を

メノコル アサム オマレ ワ
menokoru asam omare wa
女便所 の底 に入れる して

女便所に入れてしまったのだ。

115 カシ ウン オクイマ オソマ コロ アン ワクス
kasi un okuyma osoma kor an wakusu
その上 に 小便し 大便し ながら いる ので

その上から小便や大便をしていたので

ネ ニシパ イソエニウケシ オラ
ne nispa isoeniwkes ora
その 旦那さん 獵運がなくなる こんど

その旦那さんは獵運がなくなり

シイエイエ ワ タネ ライ ノイネ ネ ヒ アナクネ
siyeye watane ray noyne ne hi anakne
病気をし て もう 死に そう になる こと は

病気になってもう死んだようになっているのは

ネ メノコ ウエン ワ ネ”
 ne menoko wen wa ne”
 その 女性 悪い して だよ

その女性が悪いのだ」

ネ ペロ ハウエアン ヒケ
 ne pero hawean hike
 その ミズナラ 言う したが

とミズナラが言いました。

120 “タン ハワシ マク アカラ チキ ピリカ”
 “tan hawas mak a=kar ciki pirka”
 この 話 どう (私)する したら いい

「この話をどうしたらいい」

セコロ スイ スス ハウエアン ルウェ ネ アクス
 sekor suy susu hawean ruwe ne akusu
 と また ヤナギ 言う こと だっ たところ

とまたヤナギが言ったところ

“タン ニ チヨロポク タ アン
 “tan ni corpok ta an
 この 木 の下 に いる

「この木の下にいる

ポン メノコ パクノ ケウトウム ピリカ
 pon menoko pakno kewtum pirka
 若い 娘 ほど 心 美しい

若い娘ほど心の美しい

ポン メノコ ネ ワ アン ペ ネ クス
 pon menoko ne wa an pe ne kusu
 若い 女性 であって ある の だ から

娘はないので

125 タン ポン メノコ ヘネ
 tan pon menoko hene
 この 若い 女性 にでも

この娘に

カムイ イタクテ アキレ ワ アスルコロ ヘネ キ
 kamuy itakte a=kire wa asurkor hene ki
 神 に話させる (私)させる して 噂をする でも をする

話をさせる。

ソモ キ ヤクン アナクネ
 somo ki yakun anakne
 しない ならば は

そうすれば

ネ イシカラ プトウ ウン ニシパ
 ne Iskar putu un nispa
 その 石狩 の河口 の 旦那さん

その石狩川の下流の村長は

アシクヌレ エアシカイ ナンコロ”
 a=siknure easkay nankor”
 (私)生かす できる だろう

生きることができるだろう」

130 セコロ ウコイタクパ ハウエ アヌ ワ
 sekor ukoitakpa hawe a=nu wa
 と 互いに話す こと (私)聞いて

と話し合っているのを聞いて

エアラキンネ イヨクンヌレアン コロ アン
 earkinne iyokunnure=an kor an
 本当に 驚きあきれる(私) ながら いる

本当に驚きました。

オラ

ora

こんど

そして

“ホクレ アスルコロ ワ ホタヌ エサン。¹³

“hokure asurkor wa hotanu e=san.

早く 噂を持つ して 訪ねる (お前)川を下る

「早くこの話を知らせに川を下って行きなさい。

エオナハ オロ タ カ イテキ… エヘノイエ

e=onaha oro ta ka iteki... e=henoye

(お前の)父 の所 に も 決して (お前)立ち寄る

父のところにも立ち寄らずに

135 ソモ キ ノ ナニ エサン クス ネ ナ”

somo ki no nani e=san kusu ne na”

しない で すぐ (お前)川を下る である よ

すぐに行きなさい」

セコロ ヘメム ネ ニテク ハウエアン ハウエ

sekor hemem ne nitek hawean hawe

と それも その 枝 言う こと

とその枝が言ったのを

アヌ テク

a=nu tek

(私)聞く さっと

聞いてすぐに

オラ ナニ ネ アコン ニシケ

ora nani ne a=kor_ nisike

こんど すぐ その(私)の 薪

私のまきを

アセ テク イネ エカン イネ

a=se tek _hine ek=an _hine

(私)背負う して 来る(私) して

背負って家に帰り

140 アウニ タ シレパアン コロカ

a=uni ta sirepa=an korka

(私の)家 に 着く(私) けれど

私の家に着いたけれど

タプ ネ ネ ワ イシカラ プトウ ウン

tap ne ne wa Iskar putu un

こうであって 石狩 の河口 に

このようなわけで石狩川の下流に

アラパアン セコロ

arpa=an sekor

行く(私) と

行くとは

アオナ エウン カ

a=ona eun ka

(私の)父 に も

父にも

アイエ カ ソモ キ ノ

a=ye ka somo ki no

(私)言う も しない で

言わずに

13 この女性が住んでいるのが石狩のどこなのかはここまで明らかにされていないが、後段で「石狩の上流の村」と語られている。河口部の村を訪ねるのでサン san (川を下る) という表現になっている。

145 ナニ パシ カネ テレケ カネ
nani pas kane terke kane
すぐに 走る して 跳ぶ して

すぐ走って跳んで

サナニネ
san=an hine
川を下る(私) して

川を下って行きました。

ネ イシカラ プトウ ウン コタン タ
ne Iskar putu un kotan ta
その 石狩 の河口 の 村 に

石狩川の下流の村には

アラパアン カ エラミシカリ プ ネ コロカ
arpa=an ka eramiskari p ne korka
行く(私) も 経験がない もの だ けれど

行ったこともなかったけれど

コタン ノシキ¹⁴ タ ネ クニ
kotan noski ta ne kuni
村 の真ん中 に だ と

村の真ん中だと

150 アラム ヒ クス
a=ramu hi kusu
(私)思う だから

思ったので

ネ コタン ノシキ ウン チセ ソイ タ アラパアン
ne kotan noski un cise soy ta arpa=an
その 村 の真ん中 の 家 の外 に 行く(私)

その村の真ん中の家の外に行きました。

ルウェ ネ アクス ネ イコシマツ ネ
ruwe ne akusu ne ikosmat ne
こと だっ たところ その 嫁 である

その嫁である

メノコ ネ ノイネ アン ペ ソイエネ ヒネ
menoko ne noyne an pe soyene hine
女性 であるように ある もの 外に出る して

女性であろう人が外に出て来て

イヌカラ ヒネ オラ イコパシロタ¹⁵。
i=nukar hine ora i=kopasrota.
(私に)見る して こんど (私に)ののしる

私を見るとののしりました。

155 “ヒナク ワ エク ウェン ポン メノコ
“hinak wa ek wen pon menoko
どこ から 来た 貧乏な 若い 娘

「どこから来た貧乏人の娘だ。

イミ ルウェ カ ウェン
imi ruwe ka wen
着る もの も 悪い

着物もみすばらしい

ウェンクル サニ ネ ノイネ アン ペ
wenkur sani ne noyne an pe
貧乏人 の子孫 である らしく ある もの

貧乏人の子孫のようなものが

14 行ったことがない村でも、村長の家は村の中央にある大きな家と決まっているので迷わず行けたということ。

15 この事件の原因を作ったお嫁さんなので性格が良くないらしい。どのような相手でも会ってすぐに悪口を言うのは人の道に反する行為である。

ソイ タ アン”

soy ta an”

外 に いる

外にいる」

セコロ ハウエアン コロ

sekor hawean kor

と 言う ながら

と言いました。

160 アフン ハウエ アサクス

ahun hawe as akusu

入れ 声 立っ たところ

入りなさいという声がして

オラ ネ チセ オンナイ ウン

ora ne cise onnay un

こんど その 家 の中 で

家の中から

“ネン カトウフ アン ヤッカ

“nen katuhu an yakka

どんな 姿 ある しても

「どんな姿であっても

アフン ルスイ クス エク ペ アナクネ

ahun rusuy kusu ek pe anakne

入る したい ので 来る もの は

入りたいから来た人は

アアフンケ プ ネ ワ”

a=ahunke p ne wa”

(人)入れる もの だ よ

入れるものだ」

165 セコロ ハワシ アクス

sekor hawas akusu

と 声がする したところ

と言って

オラ スイ イアフンケ クス イェ クス

ora suy i=ahunke kusu ye kusu

こんど また (私を)入れる と 言う ので

また私に入りなさいと言うので

アフナン イオカ オリパカン コロ

ahun=an ioka oripak=an kor

入る(私) 人の後に 遠慮する(私) ながら

遠慮をしながら

アフナン ヒネ

ahun=an hine

入る(私) して

家に入りました。

アペケシウトウツ¹⁶ タ アナン ルウエ ネ アクス

apekesutur_ ta an=an ruwe ne akusu

下座 に いる(私) こと だっ たところ

下座に座っていると

170 チセコロクル ネ ノイネ アン クル

cisekorkur ne noyne an kur

家の主人 である ようで ある 男性

家の主人のような男性が

16 入り口から家の中に入ったとき一番奥が上座であり、入ってすぐの場所がアペケシウトウル apekes-utur（下座）。木尻座とも。

“ホクレ ホクレ アペサム⁽¹⁷⁾ ウン
 “hokure hokure apesam un
 さあ早く いろいろのそば に

「さあさあ。火のそばに

…イエクテ ワ アアン ヤク ピリカ”
 …i=ekte wa a=an yak pirka”
 (私を)来させ て 座る(人) と いい

私の方に来たらいい」

セコロ イエ ヒ クス
 sekor ye hi kusu
 と 言う だから

と言ったので

オイネテツコロ⁽¹⁸⁾ アペケシトウラシアン⁽¹⁹⁾ ヒネ
 oinetekkor apekesturasi=an hine
 に四つん這いになる 下座から上手に行く(私) して

四つん這いになって上座に向かって進み

175 アペ… ハラキシ ワ⁽²⁰⁾ アアン コロ
 ape... harkiso wa a=an kor
 火 客座 に 座る(私) ながら

客座に座りました。

インカラン アクス
 inkar=an akusu
 見る(私) したところ

見ると

ネ ヤク アイエ シイエイエ オッカヨ
 ne yak a=ye siyeye okkayo
 である と (私)言う 病気の 男性

話に聞いた病気の男性

ネ ノイネ アン クル オシソ⁽²¹⁾ ワ
 ne noyne an kur osiso wa
 である らしく ある 人 右座 に

のような人が右座に

アホツケレ ワ アン ワ
 a=hotkere wa an wa
 (人)寝かせる して いる して

寝かせられていました。

180 オラノ サマ タ ニシパ ウタラ
 orano sama ta nispa utar
 それかた の近く に 旦那さん たち

そして傍らで年配の男性たちが

カムイオロイタク ネ ヤ
 kamuy'or'itak ne ya
 神に祈る で も

祈りの儀式を

チセ オンナイ タ ネ ヤ ソイ タ ネ ヤ
 cise onnay ta ne ya soy ta ne ya
 家 の中 で で も 外 で で も

家の中や外で

17 大きな家だと炉も大きいので、下座から火の燃えている場所まではかなりの距離があり、あまり暖かくない。そこで家の主人は来客に対し火のそばへ来るように促したということ。この主人は身なりで相手を判断しない良い人物であるらしい。

18 オイネテツコロ o-ine tek-kor (に・4つの・手・を持つ) で「に四つん這いになる」と解釈した。辞書類には未見。

19 アペケシ apekes は「火の燃え尻」。まきは炉の形に合わせて置かれるので、燃えているまきに沿って家の上手に向かって移動したという意味か。

20 ワ wa は「～から」という動作の基点を現すが、このように「～に」と訳せる場合もある。

21 上座から入り口側を見ての右側の座。家族の席である。

カムイオロイタクパ コロ オカ ハウエ
kamuy'or'itakpa kor oka hawe
神に祈る ながら いつ こと

神に祈っているのを

アヌカラ コロ
a=nukar kor
(私)見る ながら

見ながら

185 アペサム タ アアン ヒ オラ…
apesam ta a=an hi ora…
いろりのそば に 座る(私) こと こんど

いろりのそばに座りました。

アペサムン フチアペ ヘコテ
apesam un huciape hekote
火のそば で 火の神 の方へ

そこで火の神様に

“ タプ ネ カネ スス カムイ ペロ カムイ
“ tap ne kane susu kamuy pero kamuy
このようなわけで ヤナギの 神 ミズナラの 神

「このようなわけでヤナギとミズナラの神様が

ウコイタクパ ハウエ アヌ ワ
ukoitakpa hawe a=nu wa
互いに話す 声 (私)聞くして

話をしていたのを聞いたのです。

アエピリマ ワクス
a=epirma wakusu
(私)そっと警告する ので

そっと警告してくれたので

190 ホタヌエサンアン ルウェ ネ クス
hotanuesan=an ruwe ne kusu
訪ねに来る(私) こと だ から

訪ねて来たのです。

フチアペ イエプンキネ ワ イコレ ヤク ピリカ ”
huciape i=epunkine wa i=kore yak pirka” 火の神様、私を守ってください
火の神 (私を)守っ て (私に)くれる と いい

セコロ ハウエアナン コロ アナン アクス
sekor hawean=an kor an=an akusu
と 言う(私) ながら いる(私) したところ

と言いました。

テ パクノ アイェ カ アエラミシカリ ア
te pakno a=ye ka a=eramiskari a
今 まで (私)言う も (私)の経験がなかった

今まで歌ったこともなかった

シノツチャ アキ
sinotca a=ki
歌 (私)する

歌を私は歌いました。

195 トウスシノツチャ²² アイェ ワ
tususinotca a=ye wa
巫術の歌 (私)言う して

巫術の歌を歌って

22 自分の意志ではなく、神の力を借りて普通はわからないことを言い当てる歌を歌うこと。

エアラキンネ ヤイカタ ネ ヤツカ アオクンヌレ コロ
 earkinne yaykata ne yakka a=okunnure kor 本当に自分でも驚きました。
 本当に 自分 で も (私)驚く ながら

トウスシノツチャ アイェ コロ
 tususinotca a=ye kor 巫術の歌を歌う
 巫術の歌 (私)言う ながら

シノツチャ トウイカ アオマレ ヒ エネ アニ。
 sinotca tuyka a=omare hi ene an _hi. 歌詞はこのようなものでした。
 歌 の上 (私)入れる こと このようだった

“チセ コロ イポネクル²³ テ パクノ
 “cise kor iponekur te pakno 「この家の息子がこれまで
 家 の 息子である人 今 まで

200 エイワンケ コロ アナ イタンキ アン ヤ。
 eywanke kor an a itanki an ya. 使っていた椀はあるのか。
 使っ て い た 椀 ある か

フナラパ ワ インカラパ ヤン”
 hunarpa wa inkarpa yan” 探してごらん”
 を探す して みる しなさい

セコロ アイェ ルウエ ネ アクス
 sekor a=ye ruwe ne akusu と私が言ったところ
 と (私)言う こと だっ たところ

“ネア チセコロ イタン…クル イポネクル コロ イタンキ
 “nea cisekor itan... kur iponekur kor itanki 「この家の息子の椀が
 あの 家の 人 息子である人 の 椀

メノコ アシンル アサム アオマレ ワクス
 menoko asinru asam a=omare wakusu 女便所の底に入っているために
 女性 便所の 底 (人)入れる なので

205 イソ ラマツ アウク オラ カシ タ
 iso ramat a=uk ora kas ta 狩りの魂を取られて
 狩り 魂 (私)取る こんど その上 に

タネ ライ ノイネ アン ヒ ネ ヤツカ
 tane ray noyne an hi ne yakka もう死にそうになっている。
 もう 死ぬ ように ある こと で も

メノコ ウエン カツチャム クス ネ クス
 menoko wen katcam kusu ne kusu 女性の悪いふるまいのためなのだ。
 女性の 悪い ふるまい のため だ から

ネ イタンキ ネ ヤツカ
 ne itanki ne yakka その椀を
 その 椀 で も

23 イポネクル i-po-ne-kur (その・子供・である・人)。

フナラパ ワ インカラ ヤン。
 hunarpa wa inkar yan.
 を探す して みる しなさい

探してごらんなさい。

210 スンケ イタク アイエ ヒ ネ ヤ
 sunke itak a=ye hi ne ya
 嘘 言葉 (私)言う ことか

私が嘘を言っているのか

アンペ イタク アイエ ヒ ネ ヤ
 anpe itak a=ye hi ne ya
 本当 言葉 (私)言う ことか

本当のことを言っているのか

ネ イタンキ フナラパ ワ ヌカラ ヤン”
 ne itanki hunarpa wa nukar yan”
 その 腕 を探す して みる しなさい
 セコロ アン ペ シノツチャ トウイカ アオマレ ヒネ
 sekor an pe sinotca tuyka a=omare hine
 と ある もの 歌 の上 (私)入れる して

その腕を探してごらんなさい」

ということを歌にのせて

トウスアン ルウェ ネ アクス
 tusu=an ruwe ne akusu
 巫術をする(私) こと だっ たところ

巫術をしたところ

215 ナニ ニシパ ウタラ
 nani nispa utar
 すぐに 旦那さん たち

すぐに旦那さんたちは

ネ イタンキ フナラパ アクス
 ne itanki hunarpa akusu
 その 腕 を探す したところ

その腕を探して

“ネ チセ コロ イボネクル コロ
 “ne cise kor iponekur kor
 その 家 の 息子である人 の

「息子の

イタンキ イサム”
 itanki isam”
 腕 ない

腕がない」

セコン ネ ヒネ
 sekor_ ne hine
 と いっ て

と言いました。

220 オラ ナニ メノコル オツ タ
 ora nani menokoru or_ ta
 こんど すぐに 女便所 の所 で

そしてすぐ女便所を

イフナラパ ルウェ ネ アクス
 ihunarpa ruwe ne akusu
 もの探しをする こと だっ たところ

探したところ

ソンノ カ ネ イタンキ アウプシレ ヒネ アン ヒネ
 sonno ka ne itanki a=upsire hine an hine
 本当に も その 腕 (人)伏せる して ある して

本当に腕が伏せてあったのを

オラ ソンノ ネ イタンキ アプス ヒ
 ora sonno ne itanki a=pusu hi
 こんど 本当に その 椀 (人)掘り出す こと

掘り出しました。

オラ ナニ ネ イタンキ
 ora nani ne itanki
 こんど すぐ その 椀

すぐその椀を

225 フライエパ ロク フライエパ ロク ヒネ
 hurayepa rok hurayepa rok hine
 何度も洗う して

洗って洗って

オラ イナウケパ ヒネ ネ イタンキ
 ora inawkepa hine ne itanki
 こんど 木幣を作る して その 椀

木幣を作ってその椀に

イナウ アコタタタ ルウェ ネ ヒネ
 inaw a=kotaktak ruwe ne hine
 木幣 (人)つける こと である して

つけました。

オラ ナニ パン サヨ カラパ ヒネ
 ora nani pan sayo karpa hine
 こんど すぐに 薄い かゆ を作る して

すぐに薄いかゆを作って

ネ イタンキ イナウ トウラノ パン サヨ
 ne itanki inaw turano pan sayo
 その 椀 木幣 と一緒に 薄い かゆ

その椀に木幣と薄いかゆを

230 アオマレ ヒネ
 a=omare hine
 (人)入れる して

入れて

ネ シイエイエクル パロ アオツテ ルウェ ネ アクス
 ne siyeyekur paro a=otte ruwe ne akusu
 その 病気の人 の口 (人)入れる こと だっ たところ

その病気の人のお口につけると

テ パクノ ネプ カ パロ アオツテ… ヤツカ
 te pakno nep ka paro a=otte... yakka
 今 まで 何 も の口 (人)入れる しても

今まで何を口につけても

ク カ ソモ キ ノ
 ku ka somo ki no
 飲む も しない で

飲みもせず

パキサラ オロワ チョコクセ²⁴ ア プ
 pakisar orowa cokokse a p
 口の端 から 注ぐ だったが

口の端から注いでいたのに

235 ネア イタンキ アニ アコイプニ アクス
 nea itanki ani a=koyypuni akusu
 その 椀 で (人)飲ませる したところ

その椀で飲ませると

24 チョコクセ cokokse の意味は辞書類には未見。

ネ パン サヨ ルキ セコロ ネ ヒネ
 ne pan sayo ruki sekor ne hine
 その 薄い かゆ を飲み込む と であっ て

その薄いかゆを飲み込みました。

オラノ ネ ニシパ ウタラ ネ ヤツカ
 orano ne nispa utar ne yakka
 それから その 旦那さん たち で も

その旦那さんたちも

メノコ ウタラ ネ ヤツカ
 menoko utar ne yakka
 女性 たち で も

女性たちも

エウコヤイコブンテク コロ アナン
 eukoyaykopuntek kor an=an
 について皆喜ぶ ながら いる(私)

みんな喜んでいました。

240 ラポッケ シクマカカ セコロ ネ
 rapokke sikmakaka sekor ne
 そのうちに 目を開ける と である
 ハワシ アヌ ヒ アナクネ
 hawas a=nu hi anakne
 声 (私)聞くと き は

そして目を開けたと

いうのを聞いて

タネ シクヌ ヒ アエパレ ヒ ネ クニ
 tane siknu hi a=epare hi ne kuni
 もう 生きる こと (私)至る こと だ と

もう生き返ったと思いました。

アラム ワ オラ メノコ ウタラ
 a=ramu wa ora menoko utar
 (私)思う して こんど 女性 たち

すると女性たちが

ピヌピヌ コロ イエオヤイタク²⁵。
 pinupinu kor i=eoyaitak.
 こそこそ言う ながら (私に)陰口を言う

こそこそと話していました。

245 “ヒナク コエク ウェン メノコ
 “ hinak koek wen menoko
 どこ から来た 貧乏人の 娘

「どこから来た貧乏人の娘だい。

イミ ルウェ カ ウェン ペ オラ
 imi ruwe ka wen pe ora
 着る こと も 悪い もの こんど

着物もみずばらしい。

ヤイシトマ カ ソモ キ”
 yaysitoma ka somo ki”
 自分で遠慮をする も しない

遠慮もせずに」

セコン ネ ヤ イェ コロ… イエミナウシパ コロ
 sekor_ ne ya ye kor... i=eminauspa kor
 と など を言う ながら (私に)笑う ながら

と私のことを笑っていると

オカ ロク ペ セコロ ヤイヌアン ペ ネ クス
 oka rok pe sekor yaynu=an pe ne kusu
 いる いた もの と 思う(私) もの だ から

思ったので

25 オヤクイタク oya-itak (ほかの・言葉)「陰口」という意味か。辞書類には未見。

250 オラ タプ ネ ネ ヒ
ora tap ne ne hi
こんど こうである よ と

このように

アイェ テク ヒ オラ ナニ
a=ye tek hi ora nani
(私)言う さっとする こと こんど すぐ

言うとすぐに

ヤイソヨマレアン ヒネ エカン イネ
yaysoyomare=an hine ek=an _hine
ひとりで外に出る(私) して 来る(私) して

外に出て家に帰りました。

アウニ タ エカン イネ
a=uni ta ek=an _hine
(私の)家 に 来る(私) して

私の家に帰って

オラ アオナハ エウン カ タプネ ネ
ora a=onaha eun ka tapne ne
こんど (私の)父 に も こうである よ

父にもこのようなことがあったと

255 セコロ カ アイェ カ ソモ キ ノ
sekor ka a=ye ka somo ki no
と も (私)言う も しない で

言いもせずに

アナン ルウエ ネ ア プ
an=an ruwe ne a p
いる(私) こと だった が

暮らしていました。

ニサッタ ネ アン アクス…
nisatta ne an akusu…
翌日 に なっ たところ

翌日になると

コタン コン ニシパ ウタラ
kotan kor_ nispa utar
村 の 旦那さん たち

村長の旦那さんたちが

ポロ シケ キパ ヒネ
poro sike kipa hine
大きい 荷物 をする して

大きな荷物を持って

260 アラキパ ルウエ ネ アクス
arkipa ruwe ne akusu
来る こと だっ たところ

やって来ました。

アオナハ エライキマテク。
a=onaha eraykimatek.
(私の)父 をひどく驚く

父は驚いて

“マク ネ ヒネ エネ ニシパ ウタラ
“mak ne hine ene nispa utar
どう し て こう 旦那さん たち

「一体どうして旦那さんたちは

イコウウエカラパ シリ ネ ヤ
i=kouwekarpa siri ne ya
(私に)集まる 様子 だ か

私のところに来られたのでしょうか。

ウェンクル アネ ワ
wenkur a=ne wa
貧乏人 (私)である して

私は貧乏人で

- 265 ニシパオロツ²⁶ カ ヤイエパタライエ プ アネ ワ
nispaorot ka yayepataraye p a=ne wa 長者の仲間に入るのも気おくれする
長者の仲間入りする も 気おくれする 者 (私)なので

アナン ペ ネ プ
an=an pe ne p
いる(私) もの だ が

というのに

ニシパ ウタラ イコウウェカリ ”
nispa utar i=kouwekari”
旦那さん たち (私に)集まる

旦那さんたちはいらしたのですね」

セコロ ハウエアン。
sekor hawean.
と 言う

と言いました。

アオナハ キ アクス
a=onaha ki akusu
(私の)父 し たところ

父が言うと

- 270 タネ イシカラ プトウ ウン ニシパ エク イネ
tane Iskar putu un nispa ek _hine
もう 石狩 の河口 の 旦那さん 来る して もう石狩川の下流の旦那さんが来て

“ タプネ カネ
“ tapne kane
このようなわけで

「このようなわけで

イシカラ エトコ ウン ニシパ マツネポホ
Iskar etoko un nispa matnepoho
石狩 の上流 の 旦那さん の娘

石狩川の上流の旦那さんの娘さんが

アン クシケライポ
an kuskeraypo
いた おかげで

いたおかげで

アポホ アシクヌレ ヒ ア エ…ワ… クス
a=poho a=siknure hi a e... wa... kusu
(私の)息子 (私)生かす こと なので

息子が生き返ったので

- 275 ヤヤツタサアン クス アラキアン シリ ネ ”
yayattasa=an kusu arki=an siri ne”
返礼をする(私) ために 来る(私) 様子 である お礼に来たのです」

セコン ネ アクス オラ エアシリ アオナ エウン
sekor_ ne akusu ora easir a=ona eun
と だったところ こんど 初めて (私の)父 に

と言って初めて父に

“ タプネ ネ ワ エカン ヒ カ
“ tapne ne wa ek=an hi ka
このよう であっ て 来る(私) ことも

「このようなわけで

26 ニシパオロツ nispa-or-ot (長者・のところ・にいる)で「長者の仲間入りする」「長者の一員になる」。

アオナ エウン カ アイェ カ ソモ キ プ ネ クス
a=ona eun ka a=ye ka somo ki p ne kusu
(私の)父 に も (私)言い も しない ものだ から

父さんにも言わなかったのです。

アオナハ エラムコエシカリ²⁷ コロ
a=onaha eramkoeskari kor
(私の)父 に言う と

父さんに言うと

280 アウエン²⁸ マツネポ²⁹ エネ アン イキ ヒ カ
a=wen matnepo ene an iki hi ka
(私の)悪い 娘 このように する こと も

私の至らない娘がそのようにしたとは

アエラミシカリ コロ アナン ア プ
a=eramiskari kor an=an a p
(私)知らない ながら いる(私) だったが

知らなかったと

セコン ネ コロカ
sekor_ ne korka
と いう けれど

言うだろうけど

アオナハ イコイキ クニ アラム ヒ クス
a=onaha i=koyki kuni a=ramu hi kusu
(私の)父 (私に)叱る と (私)思う だから

父さんに叱られると思ったから

タプネ ヒ カ アイェ カ
tapne hi ka a=ye ka
こうである こと も (私)言う も

このようなことだと言わないで

285 ソモ キ ノ アナン ルウェ ネ。”
somo ki no an=an ruwe ne.”
しない で いる(私) こと である

いたのよ」

セコロ ハウエアナン アクス
sekor hawean=an akusu
と 言う(私) したところ

と言ったところ

オラノ ネ イシカラ プトウ ウン ニシパ ウタラ
orano ne Iskar putu un nispa utar
こんど その 石狩 の河口 の 旦那さん たち

その石狩川の下流の旦那さんたちは

ポロ シケ キ ワ アラキパ ア コロカ
poro sike ki wa arkipa a korka
大きい 荷物 をする して 来た けれど

大きな荷物をもって来ていて

アオナハ あの ヤヤツタサ イペ ネ セコロ
a=onaha yayattasa ipe ne sekor
(私の)父 返礼をする 食べ物 だ と

父にお礼の食べ物ですと

290 コロ ワ アラキパ ヤツカ
kor wa arkipa yakka
を持つ して 来る しても

言って持って来たのに

27 eramkoeskari いふ [久 204]。

28 謙遜の意味でわざと「悪い」「みずぼらしい」と言っている。

アオナ ウク カ ソモ キ。
a=ona uk ka somo ki.
(私の)父 を受け取る も しらない

父は受け取りませんでした。

“ ウェンクル アネ ワ アナン ワ
“ wenkur a=ne wa an=an wa
貧乏人 (私)であって いる(私) して

「貧乏人ですので

アマツネポ クス ウサ オカイ ペ アウンケライ
a=matnepo kusu usa okay pe a=unkeray
(私の)娘 のため 色々 ある もの (私)いただく

娘のおかげでこのようなものをいただいて

セコロ アイエミナ ヒ カ アエトランネ クス
sekor a=i=emina hi ka a=etoranne kusu
と (人が私を)笑う こと も (私)嫌がる ので

笑われることも嫌なので

295 ピリカ ルウェ ネ”
pirka ruwe ne”
いい こと である

結構です」

ヤク イエ コロ
yak ye kor
と 言う ながら

と言って

ネプ カ ウク カ アオナハ キ カ ソモ キ ワ
nep ka uk ka a=onaha ki ka somo ki wa
何 も 取る も (私の)父 し も しらない で

何も受け取りませんでした。

オラ ナニ オピッタ
ora nani opitta
こんど すぐ みんな

そしてすぐに全部

イシカラ プトウ ウン ニシパ ウタラ セ ワ
Iskar putu un nispa utar se wa
石狩 の河口 の 旦那さん たち を背負って

石狩川の下流の旦那さんは背負って

300 ホシツパ ワ イサム オカ タ アナン ワ
hosippa wa isam oka ta an=an wa
帰る してしまう の後 で いる(私) して

帰ってしまった後で暮らしていると

オラ アオナハ オラ エアシリ
ora a=onaha ora easir
こんど (私の)父 こんど 初めて

父はそうしてから初めて

イコプンテク カ キ コロ オカアン
ikopuntek ka ki kor oka=an
喜ぶ も し ながら いる(私)

喜んでいました。

ルウェ ネ アクス オラ スイ トウツコ レレコ
ruwe ne akusu ora suy tutko rerko
こと だっ たところ こんど また 2日 3日

そしてまた2、3日すると

ネ アクス インネ ウタラ アラキパ ヒネ
ne akusu inne utar arkipa hine
たっ たところ 大勢の 人たち 来る して

たくさんの人が

305 オラ ウサ オカイ ペ
 ora usa okay pe
 こんど 色々 ある もの

いろいろなものを

ポロ シケ キ ワ アラキパ ルウェ ネ アクス
 poro sike ki wa arkipa ruwe ne akusu
 大きい 荷物 し て 来る こと だっ たところ

大きな荷物にして持って来ました。

オラ アオナハ
 ora a=onaha
 こんど (私の)父

父は

“ ウェンクル アネ ワ アナン ペ ネ
 “wenkur a=ne wa an=an pe ne
 貧乏人 (私)なので いる(私) の である

「私は貧乏人なのに

ニシパ ウタラ イコウウェカリ イコシネウェ ”
 nispa utar i=kouwekari i=kosinewe”
 旦那さん たち (私に)集まる (私に)訪ねる

旦那さんたちが私のところに来てくれた」

310 セコン ネ アクス
 sekor_ ne akusu
 と 言っ たところ

と

オラ ネア シイエイエ ワ アン ア イポネクル カ
 ora nea siyeye wa an a iponekur ka
 こんど あの 病気になる して いた 息子である人 も

その病気だったあの息子も

イトウラ カネ ヒネ アラキパ ヒネ
 itura kane hine arkipa hine
 連れ立つ なんと して 来る して

連れて来ていて

オラ ネ イポネクル エネ ハウエアニ。
 ora ne iponekur ene hawean _hi.
 こんど その 息子である人 このように言った

その息子がこのように言いました。

“ ニシパ マツネポホ アン クシケライポ
 “nispa matnepoho an kuseraypo
 旦那さん の娘 いる おかげで

「旦那さんの娘がいたおかげで

315 シクヌアン ルウェ ネ クス
 siknu=an ruwe ne kusu
 生きる(私) こと だ から

私は生きることができたのです。

テワノ イパロオスケ クニ ネ
 tewano i=paroosuke kuni ne
 これから (私を)養う するつもりだ

これからは私の嫁になってもらいます。

ニシパ ラム ワ イコレ ”
 nispa ramu wa i=kore”
 旦那さん を思う して (私に)ください

旦那さんは承知してください」

セコロ ハウエアアン ルウェ ネ アクス
 sekor hawean ruwe ne akusu
 と 言う こと だっ たところ

と言いました。

オラノ アオナハ ポヘネ エライキマテク。
 orano a=onaha pohene eraykimatek.
 それから (私の)父 なおさら に驚く

父はなおさら驚いて

320 “ ウェンクル アネ ヒネ アナン ワ
 “wenkur a=ne hine an=an wa
 貧乏人 (私)である して いる(私) して

「貧乏人の私ですから

ウェンクル サニ ニシパ オルン
 wenkur sani nispa or un
 貧乏人 の子孫 旦那さん の所 に

貧乏人の子孫が旦那さんのところに

アコララ セコン ネ ヤ… コロ
 a=korar sekor_ ne ya... kor
 (私)嫁にやると で も と

嫁に行くと

ウェンクル サニ セコロ アイェ ヒ カ
 wenkur sani sekor a=ye hi ka
 貧乏人 の息子 と (私)言う ことも

貧乏人の子孫だと言われて

アマツネポ アトウヤシカラブ クス
 a=matnepo a=tuyaskarap kusu
 (私の)娘 (私)同情する ので

娘がふびんなので

325 ソモ アン ペ ネ ”
 somo an pe ne”
 しない もの である

お断りします」

セコロ アオナハ ハウエアン カ タ オラ
 sekor a=onaha hawean ka ta ora
 と (私の)父 言う 上 に こんど

と言い、重ねて

“ シネ マツネポ タクプ
 “sine matnepo takup
 ひとり 娘 だけ

「たったひとりだけの娘

アコロ ペ ネ クス
 a=kor pe ne kusu
 (私)持つ もの だ から

なので

シソイタアン ワ アシカオイキレ クナク
 sisoyta=an wa a=sikaoykire kunak
 自分の外に住む(私) して (私)養わせる と

近くに置いて私を養わせよう

330 アラム コロ アナン ペ
 a=ramu kor an=an pe
 (私)思う ながら いる(私) もの

と思っている

アネ ルウェ ネ クス
 a=ne ruwe ne kusu
 (私)である こと だ から

ので

ソモ アン ペ ネ ”
 somo an pe ne”
 しない もの である

お断りします」

セコロ アオナハ ハウエアン コロ コパン ヤツカ
 sekor a=onaha hawean kor kopan yakka
 と (私の)父 言う ながら を拒む しても
 と言って拒んでも

ネ イポネ ニシパ
 ne ipone nispa
 その 息子の 旦那さん
 村長の息子は

335 “ネウン ネ ヤツカ ネ メノコ…
 “neun ne yakka ne menoko…
 どう で も その 女性
 「どうしてもその娘…

ニシパ マツネポ アン クシケライポ
 nispa matnepo an kuskeraypo
 旦那さん の娘 いた おかげで
 旦那さんの娘さんがいたおかげで

シクヌアン ペ ネ クス
 siknu=an pe ne kusu
 生きる(私) もの だ から
 生きられたので

アコン ルスイ
 a=kor_ rusuy
 (私)持つ したい
 嫁に欲しいのです。

オラ タ オンネ ウタラ カ
 ora ta onne utar ka
 こんど ここの 老人 たち も
 そしてここのお年寄りたちも

340 アトウラ ワ イシカラ プトウフ タ
 a=tura wa Iskar putuhu ta
 (私)連れる して 石狩 の河口 で
 一緒に石狩川の下流で

カシ アオイキ パロ アオイキ…
 kasi a=oyki paro a=oyki…
 (私)養う (私)食事の世話
 養って

オスケ²⁹ クス ネ クス
 osuke kusu ne kusu
 をする ので
 さしあげますので

ネウン ネ ヤツカ
 neun ne yakka
 どう で も
 どうか

ニシパ マツネポホ イパロオスケ
 nispa matnepoho i=paroosuke
 旦那さん の娘 (私に)養う
 旦那さんの娘を嫁に

345 クニ ラム ワ イコレ”
 kuni ramu wa i=kore”
 ように を思う して (私に)ください
 ください」

29 パロ アオスケ paro a=osuke (食事の世話をする) と言い直そうとしたか。

セコロ アオナハ カシ アオシケ アイネ
 sekor a=onaha kasi a=oske ayne
 と (私の)父 (私)ものを与える したあげく

と父に返礼の品を渡したところ

オラ アオナハ エセ³⁰ ルウエ ネ ヒネ
 ora a=onaha ese ruwe ne hine
 こんど (私の)父 承諾する こと であっ て

父も承諾しました。

オラ エアシリ ヘム オカイ ペ アコロ ペ
 ora easir hem okay pe a=kor pe
 こんど 初めて それらの もの (私の)持つ もの

それからいろいろなもの

ヤイカタ カ アウウオマレ
 yaykata ka a=uwomare
 自分 も (私)集める

持ち物を自分でも集めて

350 オラ アオナハ カ
 ora a=onaha ka
 こんど (私の)父 も

父も

コロ ワ オカイ ペ トウプ レプ
 kor wa okay pe tup rep
 持つ して いる もの 2つ 3つ

持ち物を2つ3つ

ピリカノ オカイ ペ アナクネ
 pirvano okay pe anakne
 よく ある もの は

いいものを

アオナ ウタラ カ ウウオマレ
 a=ona utar ka uwomare
 (私の)父 たち も を集める

集めて

オラ オカケ タ オカイ ペ アナクネ
 ora okake ta okay pe anakne
 こんど その後 に ある もの は

その後のものは

355 コタン コロ ウタラ
 kotan kor utar
 村人たち

村の人たちで

ウウオマラパレ ワ イコレ
 uwomarpare wa i=kore
 を集める して (私に)くれる

分け合ってくれれば

ヤク ピリカ ナ セコロ
 yak pirka na sekor
 と いい よ と

いいと言いました。

アオナハ ハウエアン コロ
 a=onaha hawean kor
 (私の)父 言う ながら

父はそう言って

30 エセ e-se (はい・と言う) で、承諾する際の返事。

オラ アオナ カ アウヌ カ トウラノ
 ora a=ona ka a=unu ka turano
 こんど (私の)父 も (私の)母 も

父も母も一緒に

360 イシカラ プトウフ タ サナン ルウェ ネ アクス
 Iskar putuhu ta san=an ruwe ne akusu
 石狩 の河口 に 下る(私) こと だっ たところ

石狩川の下流に下って行きました。

エアラキンネ
 earkinne
 本当に

本当に

ネ イポネクル カ エヤイコブンテク
 ne iponekur ka eyaykopuntek
 その 息子である人 も を喜ぶ

その息子も喜んで

イオネクル³¹ カ エヤイコブンテク ヒ
 ionekur ka eyaykopuntek hi
 父である人 も を喜ぶ こと

その父である人も喜びました。

オラ ナニ ネ スス ネ ヤ ペロ
 ora nani ne susu ne ya pero
 こんど すぐ その ヤナギ で も ミズナラ

そしてすぐにヤナギやミズナラに

365 アコヤイライケ クス
 a=koyayrayke kusu
 (私)感謝する ために

感謝をしに

エウン ウサ サケ ウサ イナウ アニ
 eun usa sake usa inaw ani
 そこへ 色々な 酒 色々な 木幣 で

酒や木幣で

ヤヤッタサ ワ イコレ セコロ
 yayattasa wa i=kore sekor
 返礼をし て (私に)くれる と

お礼をしてくださいと

ハウエアナン ペ ネ クス
 hawean=an pe ne kusu
 言う(私) もの だ から

言いました。

オラ ナニ ウサ サケ ウサ イナウ アニ
 ora nani usa sake usa inaw ani
 こんど すぐ 色々な 酒 色々な 木幣 で

そしてすぐに酒や木幣で

370 ネ スス ネ ヤツカ ペロ ネ ヤツカ
 ne susu ne yakka pero ne yakka
 その ヤナギ で も ミズナラ で も

そのヤナギやミズナラ

オロ タ パイエパ ワ
 oro ta payepa wa
 の所 に 行く して

のところに行って

イナウ アコタクタク
 inaw a=kotaktak
 木幣 (私)つける

木幣をつけて

31 イオナネクル i-ona-ne-kur (その・父・である・人) と言おうとしたのだろう。

ウサ アエプ ウサ サケ アニ ネ ペロ ネ ヤツカ
usa aep usa sake ani ne pero ne yakka
色々な 食べ物 色々な 酒 で その ミズナラで も

食べ物や酒でそのミズナラにも

アコヤヤッタサ ルウェ ネ ワ
a=koyayattasa ruwe ne wa
(私)返礼をする こと であつて

お礼をしますと

375 オラノ ネ ワ ネ ヤ カムイイタクテ
orano ne wa ne ya kamuyitakte
それから そうしてで も 神に祈る

神に祈ることを

アキ プ ネ クス
a=ki p ne kusu
(私)するものだ から

しました。

オヤコヤク ワ
oyakoyak wa
あちこち から

あちこちから

ナ ネン ネン アン ペ アイコピシ コロ… クス
na nen nen an pe a=i=kopisi kor... kusu
まだ いろいろ ある もの (人が私に)尋ねる ながら ので

いろいろな人が来て、私に尋ねるために

オヤ コタン オロ ワ カ アラキ コロ
oya kotan oro wa ka arki kor
よその 村 の所 から も 来る ながら

よその村からも人が来ました。

380 トウスアン ワ ネ ワ アン ペ クス
tusu=an wa ne wa an pe kusu
巫術をする(私) して そうして ある もの なので

私が巫術をしたので

ポヘネ アスル アシ カツケマツ
pohene asur as katkemat
なおさら 噂 立つ 淑女

なおさら噂の奥方に

アネ ヒネ アナン ラポッケ
a=ne hine an=an rapokke
(私)なるして いる(私) そのうちに

私はなりました。そして

アオナ ウタラ カ シソイ タ アヌ プ ネ クス
a=ona utar ka sisoy ta anu p ne kusu
(私の)父 たち も 自分の外 に 置く ものだ から

父たちは隣に住んでいるので

アピリカヌヌケ イネ トウラノ アナン。
a=pirkanunuke _hine turano an=an.
(私)とても大切に して と一緒に 暮らす(私)

大切にしていっしょに暮らしました。

385 アコン ニシパ カ
a=kor_ nispā ka
(私)の 旦那さん も

私の旦那さんも

アオナハ アウヌフ ヌヌケ コロ オカ。
a=onaha a=unuhu nunuke kor oka.
(私の)母 (私の)父 を大切に し ながら 暮らす

父や母を大切にしてくれました。

ヤイカタ カ アシウト³² ウタラ
yaykata ka a=siwto utar
自分 も (私の)しゅうと たち

私も義父母を

アヌヌケ コロ オカアン
a=nunuke kor oka=an
(私)大切にする ながら 暮らす(私)

大事にして暮らしました。

ラポッケ ポコロ カ アン シリ カ
rapokke pokor ka an siri ka
そのうちに 子供ができ も ある 様子 も

そのうちに子供ができたのを

390 アオナハ アウヌフ ヌカラ コロ オラ
a=onaha a=unuhu nukar kor ora
(私の)父 (私の)母 を見る ながら こんど

父も母も見てから

アオナハ カ アウヌフ カ オンネ。
a=onaha ka a=unuhu ka onne.
(私の)父 も (私の)母 も 老死する

老衰で死んでしまいました。

アシウト ニシパ ウタラ ポヘネ
a=siwto nispa utar pohene
(私の)しゅうと旦那さん たち なおさら

義父母も

シネ イタク カ アラカ イタク³³
sine itak ka arka itak
ひと こと も 痛い 言葉

一言の嫌なことも

アニ… イコスイパ カ ソモ キ ノ
ani... i=kosuyipa ka somo ki no
で (私に)振る もしない で

私に言わずに

395 オカアン ロク アイネ
oka=an rok ayne
暮らす(私) した あげく

暮らしました。

アシウト ウタラ カ オンネ ワ イサム オカ タ
a=siwto utar ka onne wa isam oka ta
(私の)しゅうと たち も 老死する して しまう の後 で

親たちが死んでしまった後で

ポシレシクテアン³⁴ ヒ クス
posiresikte=an hi kusu
子供がたくさん生まれる(私) だから

子供がたくさんできたので

イサマン オカ タ
isam=an oka ta
いなくなる(人)の後 で

死んでしまった後も

タプネ カネ
tapne kane
こうである して

このようなわけで

32 日本語「しゅうと」からの移入語。嫁ぎ先の親族に対して使う。義母のことはシウト ハポ siwto hapo (しゅうとの母)、義父のことはシウト エカシ siwto ekasi (しゅうとの祖父) などのように使う。

33 arka itak「痛い言葉」は辞書類には未見。「嫌味」「嫌な言葉」のことと解釈した。

34 ポシレシクテ po-sir-esik te (子供・あたり・に満ちる・させる)で「子供がたくさん生まれる」。

400 アッパケ タ イシカラ エトコ タ
 atpake ta Iskar etoko ta
 最初に は 石狩 の上流 で

最初は石狩川の上流で

オカアン ペ
 oka=an pe
 暮らす(私) もの

暮らしていましたが

オラ イシカラ プトウ ウン
 ora Iskar putu un
 こんど 石狩 の河口 で

石狩川の下流の

ニシパ オロ タ ヘントマニ ワノ
 nispa oro ta hentomani wano
 旦那さん の所 に このごろ

旦那さんのところに

イヨロタン ペ アネ プ ネ クス
 iyorot=an pe a=ne p ne kusu
 仲間に入る(私) もの (私)である もの だ から

身を寄せているのですよ。

405 ピリカノ ヤヨペカレパ³⁵ ヤク ピリカ ナ
 pirikano yayopekarepa yak pirka na
 よく 受け入れてもらう と いい よ

受け入れてもらって暮らしたらいい

セコロ アコロ ソン ウタラ
 sekor a=kor son utar
 と (私)の 息子 たち

と息子たちに

アコイタクムイエ コロ
 a=koitakmuye kor
 (私)言い残す ながら

言い置いて

オンネアン ペ ネ アクス アイェ セコロ
 onne=an pe ne akusu a=ye sekor
 老死する(私) もの だっ たところ (私)言う と

死んで行くのでお話ししますと

シネ カツケマツ
 sine katkemat
 ある 淑女

ひとりの女性が

410 イソイタク セコン ネ。
 isoytak sekor_ ne.
 物語る と さ

物語りましたとさ。

35 ヤヨペカレ yay-o-peka-re (自分・を・を受け止める・させる)。辞書類には未見。ヤイペカレ yaypekare は「～を目指して行く」[田] [久 1015]。

アイヌ民族博物館 民話ライブラリ 2

上田トシの民話 2

発 行 日 2015 年 2 月 28 日

編集・発行 一般財団法人 アイヌ民族博物館

〒 059-0902 北海道白老郡白老町若草町 2－3－4

TEL 0144-82-4199 FAX 0144-82-6121

本書は平成 26 年度公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の研究・出版助成（アイヌ文化関連出版助成）の成果である。